

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 健康科学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 解剖学 I	-	林 徹	林 徹	1	後期	2 単位	必修
2 生理学 I	-	緒形 雅則	緒形 雅則	1	後期	2 単位	必修
3 健康科学演習	研究所、企業、臨床（医師、臨床心理士）での実務経験を踏まえ、健康科学科専門科目の基礎知識について解説し、演習を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 太田久吉 ※ 清和成 ※ 内藤由紀子 ※ 伊与亨 ※ 藪田十司 ※ 大場謙一 ※ 古川隼士 ※ 片桐裕史 ※ 深瀬裕子 ※ 市倉加奈子 ※ 亀井樹 ※	1	後期	1 単位	必修
4 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原宏文 ※ 黛まどか ※ 北里耕亮 ※ 北里一郎 ※ 森孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山弘子 ※ 吉田一成 ※ 洪賢秀 ※ 柴喜崇 ※ 渋谷明隆 ※ 油谷和子 ※ 石田浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	選択
5 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤智夫 ※ 岩村正嗣 ※ 宮岡等 ※ 渡邊昌彦 ※ 坂東由紀 ※ 厚田幸一郎 ※ 有田悦子 ※ 吉田一成 ※ 渋谷明隆 ※ 伊勢田明子 ※ 齋藤有紀子 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 松永篤彦 ※ 五味勉 ※ 油谷和子 ※ 渡邊達也 ※	1	後期	1 単位	必修
6 英語 C I (TOEIC basic)	-	田ヶ谷浩邦	関口 章子	2	後期	1 単位	必修
7 解剖学 II	-	林 徹	林 徹	2	前期	2 単位	必修
8 解剖学実習	病院での臨床経験を踏まえ、予防医学上で必要とされる人体の構造と機能に関する知識を重点的に教授する。	門谷 裕一	門谷裕一 ※ 小畑秀一 ※ 田口明子 ※ 林徹 ※ 木村武俊 ※	2	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

9	生理学Ⅱ	研究所での研究経験を踏まえ、生理学分野の研究結果が人体の仕組みの解明にどのように貢献しているか概説する。	石橋 仁	石橋 仁 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	2 単位	必修
10	生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋 仁 ※ 秋田 久直 ※ 緒形 雅則 ※ 小島 史章 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
11	病理学	大学での医療技術者としての経験を踏まえ、医療における病理学の意義及び実際の病理診断がどのように展開されるのかを概説する。	土屋 紅緒	土屋 紅緒 ※	2	前期	2 単位	必修
12	生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究結果が人体を理解する上でどのように役立っているか概説する。	市川 尊文	市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 川島 麗 ※ 前川 達則 ※	2	前期	2 単位	必修
13	生化学実習	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、人体を構成する成分がどのように分析されるかを概説する。	前川 達則	前川 達則 ※ 市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 川島 麗 ※ 松尾 純孝 ※	2	前期	1 単位	必修
14	公衆衛生学Ⅰ	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性試験や水質試験の概要を説明する。政府機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 ※	2	前期	2 単位	必修
15	公衆衛生学Ⅱ	研究機関での経験を踏まえ、生活習慣病予防活動を具体的に概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 ※	2	後期	2 単位	必修
16	公衆衛生学実習	-	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 ※	2	後期	1 単位	必修
17	労働衛生学Ⅰ	企業における労働衛生管理（作業環境管理、作業管理、健康管理）の実務経験を基に産業職場における労働衛生の基礎知識について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 大場 謙一 ※ 藪田 十司 ※	2	前期	2 単位	必修
18	分析化学Ⅰ	研究機関での有害物質の分析（定性・定量）の経験を踏まえて、分析上の具体的な注意点などを含めて、講義を行う。	藪田 十司	小野真理子 ※	2	前期	2 単位	必修
19	機器分析化学（分析化学Ⅱ含）	-	清 和成	清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※	2	前期	2 単位	必修
20	機器分析化学実習（分析化学実習含）	-	清 和成	清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※	2	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

21	有機化学	-	藪田 十司	須貝 昭彦	2	前期	2 単位	必修
22	微生物学	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験及び政府機関の専門家として短期派遣された、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえて、各種微生物の性質や臨床的重要性を講義する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 清 和成 ※ 亀井 樹 ※	2	前期	2 単位	必修
23	微生物学実習	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験を踏まえて、各種微生物の取り扱い手技を指導する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※	2	後期	1 単位	必修
24	血液学	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における検査の意義や治療法などについて概説する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※ 渡邊真理子 ※	2	前期	2 単位	必修
25	食品衛生学	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性試験の概要を説明する。 政府機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、糞便汚染指標微生物検査を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 ※	2	後期	2 単位	必修
26	放射線科学	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、放射性同位元素の取り扱い、計測、利用及び安全管理を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 村石 浩 ※ 鍵谷 豪 ※	2	後期	2 単位	必修
27	免疫学	病院・検診センター・研究所での検査や検体処置を含む実務経験を踏まえて、各論について各種病態における免疫の意義と役割について概説する。	久保 誠	久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	2	後期	2 単位	必修
28	作業環境管理学 I	企業における経験を基に、職場の作業環境管理に関する有害化学物質の作業環境測定、調査理論について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※	2	後期	2 単位	必修
29	環境衛生学 I	政府機関の専門家として短期派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、開発途上国の環境問題、衛生問題の実際について概説する。	清 和成	清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※	2	前期	2 単位	必修
30	環境衛生学 II	-	清 和成	清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※	2	後期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

31	精神保健学（精神疾患とその治療）	職場メンタルヘルス活動、臨床（医師、臨床心理士）での実務経験を踏まえ、メンタルヘルスや精神障害の実際に基づいた講義を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 深瀬 裕子 ※ 市倉加奈子 ※ 佐藤 浩信 ※	2	前期	2 単位	必修
32	英語 C II (TOEIC advanced)	-	田ヶ谷浩邦	関口 章子	3	前期	1 単位	必修
33	労働衛生学 II	鉄鋼産業、自動車産業又は化学工業、電気産業での労働安全衛生管理の実務経験を踏まえて、労働安全衛生管理の意義及び企業で実際に行われている労働安全衛生管理について概説する。	大場 謙一	太田 久吉 ※ 大場 謙一 ※ 安福 慎一 ※ 加藤 隆康 ※	3	前期	2 単位	必修
34	検査学総論	医師、臨床検査技師としての実務経験を踏まえて、臨床検査について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ 鉢村 和男 ※ 狩野 有作 ※ 大谷 慎一 ※ 窪田 幸介 ※ 川岸 加奈 ※	3	後期	2 単位	必修
35	労働生理学	企業における経験を基に、職場における働く人々の生理機能を理解し、職場環境条件、各種要因による健康影響の理解と対策について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 大場 謙一	3	前期	2 単位	必修
36	リスク管理学	企業における経験を基に、産業職場で取り扱われる化学物質のリスク評価の基礎的理解について講義を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 栗田衆一郎 ※	3	後期	2 単位	必修
37	放射線科学実習	病院及び研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験並びに放射線安全管理の経験を踏まえて、放射線の取り扱い、計測、安全管理に関わる実習を行う。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 橋本 成世 ※	3	前期	1 単位	必修
38	保健栄養学	企業における経験及び管理栄養士としての経験を基に、健康確保増進に関する栄養学的な基礎知識について講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 田村須美子 ※	3	後期	2 単位	必修
39	医療統計学	企業における経験を基に、医学、看護学領域で取り扱う基礎統計学について講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※	3	前期	2 単位	必修
40	食品衛生法規	研究機関での経験を踏まえて、医薬品の承認申請の経験を踏まえ、手続きの流れ等を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 片桐 裕史	3	前期	2 単位	選択
41	作業環境評価・労働衛生工学	労働衛生機関での測定の評価の経験、研究機関での排気装置等の設計の経験を踏まえて、評価法の意義及び排気装置の設計値と実測値の違いなど、より実践的な講義を行う。	藪田 十司	藪田 十司 ※ 小嶋 純 ※	3	後期	2 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

42	産業カウンセリング	産業カウンセラー、産業医としての実務経験を踏まえて、産業・組織心理学、産業カウンセリングについて解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 佐藤 和彦 ※	3	前期	2 単位	選択
43	サステナビリティ学入門	政府機関の専門家として短期派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、開発途上国の環境問題、衛生問題の実際とSDGs達成に向けた具体について概説する。	清 和成	清 和成 ※	3	前期	2 単位	選択
44	発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	3	前期	2 単位	自由
45	疫学・疫学演習	-	内藤由紀子	内藤由紀子 伊与 亨 片桐 裕史	3	後期	1 単位	必修
46	衛生行政	-	片桐 裕史	片桐 裕史	3	前期	2 単位	必修
47	労働行政	公的機関での実務経験を基に、職場における健康・安全に関するルールや労働条件等の基礎的知識を講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 飛鳥 滋 ※ 吉松 美貞 ※	3	後期	2 単位	必修
48	作業環境管理学 I 演習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（主にデザイン）のより実践的な内容（現場で落ちやすい過ち、デザインの着眼点）を演習に含めて行う。	藪田 十司	藪田 十司 ※	3	前期	2 単位	必修
49	作業環境管理学 I 実習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（主にデザイン・サンプリング）の有害物と測定機器の選択方法やデザインの着眼点等の内容を含めて、実習を展開する。	藪田 十司	藪田 十司 ※ 太田 久吉 ※ 大場 謙一 ※ 横山 辰巳 ※	3	前期	1 単位	必修
50	産業衛生管理学	企業における経験を基に、産業衛生管理の実施上必要な専門的基礎知識を講義する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※ 大場 謙一 ※ 高橋香代子 ※ 加藤 隆康 ※ 山田比路史 ※ 安福 慎一 ※ 浅見 聡 ※	3	前期	2 単位	必修
51	産業衛生管理学実習	企業や公的機関における経験を基に、働く人々の健康を保持増進するための方法論を実習を通して教授する。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※ 大場 謙一 ※ 消防署救命救急士 ※ 中災防トレーナー ※	3	前期	1 単位	必修
52	環境工学 I	-	清 和成	清 和成 古川 隼士 亀井 樹	3	前期	2 単位	必修
53	生存科学	-	内藤由紀子	内藤由紀子	3	後期	2 単位	必修
54	薬理・毒性学	研究機関で経験した医薬品の安全性試験・薬理試験を踏まえ、開発の流れを概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 小島 史章	3	後期	2 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

55	健康食品学	研究機関での経験を踏まえ、食品成分の機能解析の具体例を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 片桐 裕史	3	前期	2 単位	選択
56	健康食品学実習	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性・機能性研究の経験を基に、研究の進め方を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 片桐 裕史	3	後期	1 単位	選択
57	作業環境管理学Ⅱ	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（主にサンプリング）の測定機器の特性や測定機器の選択方法等の内容を講義する。	藪田 十司	藪田 十司 ※	3	前期	2 単位	選択
58	作業環境管理学Ⅱ 演習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定の評価の意義や評価結果からの環境状態の状況を判断する目安等の内容を演習を含めて行う。	藪田 十司	藪田 十司 ※	3	後期	2 単位	選択
59	作業環境管理学Ⅱ 実習	労働衛生機関での経験を踏まえて、測定（デザイン、サンプリング、評価、分析）のより実践的、より現実的な内容を含めて実習を展開する。	藪田 十司	藪田 十司 ※ 太田 久吉 大場 謙一	3	後期	1 単位	選択
60	臨床心理学Ⅰ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	3	前期	2 単位	選択
61	臨床心理学Ⅱ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	3	後期	2 単位	選択
62	精神保健学実習	研究所、企業（人事・労務・健康管理、メンタルヘルス相談）、臨床（医師、臨床心理士、精神科PSW）での実務経験を踏まえ、地域・職場におけるメンタルヘルス活動について解説し、実習を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 深瀬 裕子 ※ 佐藤 浩信 ※ 稗田 里香 ※ 伊藤 美季 ※ 佐々木良枝 ※ 對木 博一 ※	3	後期	1 単位	選択
63	環境工学Ⅱ	-	古川 隼士	古川 隼士 清 和成 亀井 樹	3	後期	2 単位	選択
64	地球温暖化問題学	-	古川 隼士	古川 隼士 清 和成	3	後期	2 単位	選択
65	環境衛生学・工学実習	-	古川 隼士	古川 隼士 清 和成 亀井 樹	3	後期	1 単位	選択
66	インターンシップ	-	太田 久吉	太田 久吉	3	前期	1 単位	自由
67	分子予防環境医学	-	大場 謙一	大場 謙一	3	後期	1 単位	自由

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

68	公衆衛生学特論	研究機関での経験を踏まえ、食品の安全性・機能性研究の経験をもとに、研究の進め方を概説する。 政府機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境微生物に関して研究指導する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史 研究委員	4	通年	6 単位	選択
69	衛生管理学特論	企業における経験を基に、産業保健関連の実験、調査研究に関して研究指導を行う。	太田 久吉	太田 久吉 ※ 藪田 十司 ※ 大場 謙一 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	選択
70	精神保健学特論	職場メンタルヘルス活動、臨床（医師、臨床心理士）での実務経験を踏まえ、関連する研究テーマについては、精神医学や臨床心理学の実際に基づいた研究指導を行う。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※ 深瀬 裕子 ※ 市倉加奈子 ※ 佐藤 浩信 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	選択
71	環境衛生学特論	政府機関の専門家として短期派遣された、タイ、ネパールでの環境問題、衛生問題に関する教育と調査、研究の経験を踏まえ、関連のある卒業研究テーマについては、開発途上国の環境問題、衛生問題の実際に基づいた研究指導を行う。	清 和成	清 和成 ※ 古川 隼士 ※ 亀井 樹 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 医療検査学科〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
2 解剖学	-	門谷 裕一	門谷 裕一 木村 武俊	1	後期	2 単位	必修
3 生理学 I	-	石橋 仁	石橋 仁	1	後期	2 単位	必修
4 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田明子 ※ 齋藤有紀子 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
5 英語C	-	高橋 博之	Henry Curtley	2	通年	2 単位	必修
6 解剖学実習	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされる場所に重点を置いて教授する。	門谷 裕一	門谷 裕一 ※ 小畑 秀一 ※ 田口 明子 ※ 林 徹 木村 武俊	2	前期	1 単位	必修
7 生理学 II	研究所での研究経験を踏まえ、生理学分野の研究結果が人体の仕組みの解明にどのように貢献しているか概説する。	石橋 仁	石橋 仁 ※	2	前期	2 単位	必修
8 生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋 仁 ※ 秋田 久直 ※ 緒形 雅則 ※ 松尾 純孝 ※ 小島 史章 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
9 病理学	病院での病理診断経験を踏まえ、疾病の発症機構、病態、病理所見を概説する。	高橋 博之	高橋 博之 ※	2	前期	2 単位	必修
10 生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究結果が人体を理解する上でどのように役立っているか概説する。	市川 尊文	市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 川島 麗 前川 達則	2	通年	4 単位	必修
11 生化学実習	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、人体を構成する成分がどのように分析されるかを概説する。	川島 麗	川島 麗 ※ 市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 前川 達則 松尾 純孝	2	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

12	組織細胞学	-	門谷 裕一	門谷 裕一 木村 武俊	2	前期	2 単位	必修
13	組織細胞学実習	病院での臨床経験を踏まえ、組織や細胞の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	門谷 裕一	門谷 裕一 小畑 明子 ※ 田口 徹 林 武俊	2	前期	1 単位	必修
14	公衆衛生学	研究機関での食品の安全性試験の概要を説明する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 片桐 裕史	2	通年	3 単位	必修
15	病理検査学	大学での医療技術者としての経験を踏まえ、病理診断における病理検査の意義および実際の病理検査がどのように行われるのかを概説する。	土屋 紅緒	土屋 紅緒 ※	2	前期	2 単位	必修
16	病理検査学実習	病院等での病理診断経験を踏まえ、疾患の病理組織所見ならびに標本作製、各種染色法を概説する。	高橋 博之	高橋 博之 ※ 丸山 弘子 ※ 土屋 紅緒 ※	2	後期	1 単位	必修
17	寄生虫検査学（実習含）	研究所での経験を踏まえ、寄生虫検査の意義及び実際の検査がどのように展開されるのかを概説する。	高橋 博之	辻 尚利 ※ 小山 浩一 ※ 八田 岳士 ※ 坪川 大悟	2	通年	2 単位	必修
18	臨床検査総論 I	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、実際の一般検査がどのように展開されているかを概説する。	鉢村 和男	鉢村 和男 ※ 長塩 亮 ※	2	前期	2 単位	必修
19	臨床検査総論 I 実習	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、実際の一般検査の手技や得られた結果の評価法について概説する。	長塩 亮	佐藤 雄一 ※ 鉢村 和男 ※ 長塩 亮 ※ 伊藤 亜弥香 ※ 飯塚 高生 ※ 志賀 常雄 ※ 日野 雄太 ※	2	後期	1 単位	必修
20	遺伝子検査学	病院や研究所等での遺伝子検査の手法についての経験を踏まえ、各種遺伝子検査法の意義や実際にどのように展開されるのかを概説する。	佐藤 雄一	佐藤 雄一 ※ 長塩 亮 ※	2	後期	2 単位	必修
21	遺伝子検査学実習	病院や研究所等での遺伝子検査の手法についての経験を踏まえ、実際の遺伝子検査の手技や得られた結果の評価法について概説する。	長塩 亮	佐藤 雄一 ※ 長塩 亮 ※	2	後期	1 単位	必修
22	微生物検査学	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験を踏まえて、各種病原細菌の同定方法を講義する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 久保 誠 ※ 岡田 信彦 ※ 林 俊治 ※ 二本柳 伸 ※ 竹原 一明 ※	2	通年	4 単位	必修
23	微生物検査学実習	病院微生物検査室ならびに研究所での実務経験を踏まえて、各種病原細菌の同定手技を指導する。	北里 英郎	北里 英郎 ※ 中村 正樹 ※ 前花祥太郎 ※ 久保 誠 ※ 二本柳 伸 ※	2	後期	1 単位	必修
24	放射線科学（実習含）	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験並びに安全管理の経験を踏まえて、放射性同位元素の取扱い、計測、利用及び安全管理に関わる実習を行う。	村石 浩	村石 浩 鍵谷 豪 ※ 佐々木 徹	2	後期	1 単位	必修
25	血液学 I	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における検査の意義や治療法などについて概説する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※	2	後期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

26	臨床化学 I	臨床検査技師や研究者として病院や研究所での臨床・研究経験を踏まえ、臨床化学の意義及び実際の臨床化学検査がどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※	2	後期	2 単位	必修
27	免疫検査学 I	医師および研究者としての免疫検査に関する実務経験を活かし、免疫検査の原理・背景に重点を置いて概説する。	川村 俊彦	川村 俊彦 ※ 久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	2	後期	2 単位	必修
28	臨床生理学 I A	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査がどのように行われるかを理解するための基礎を概説する。	片桐 真人	片桐 真人 ※ 横場 正典 ※ 氏平 政伸 ※ 鈴木 淳子 ※ 姫田 久美 ※ 宇治橋善勝 ※ 荒幡 篤 ※	2	後期	2 単位	必修
29	公衆衛生学実習	公的機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	3	前期	1 単位	必修
30	医用工学概論	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	3	前期	2 単位	必修
31	医用工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について実例を挙げて解説する。企業での機器開発経験を踏まえ、医用工学における原理や応用例の解説、回路組立て・実験を安全に遂行するための実習指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 恵美悠 ※ 有阪 直哉 ※ 小菅 智裕 ※	3	後期	1 単位	必修
32	保健医療福祉総論	-	片桐 裕史	片桐 裕史	3	後期	2 単位	必修
33	臨床病態学	病院での臨床経験を踏まえ、様々な疾患の最新の検査、診断や治療がどのように展開されるのかを病因を含めて概説する。	横場 正典	片桐 真人 ※ 石井 直仁 ※ 福田 倫也 ※ 堀江 良一 ※ 横場 正典 ※ 佐藤 隆司 ※ 小島 史章 ※ 守屋 利佳 ※ 迎 美幸 ※ 魚嶋 晴紀 ※ 金子 亨 ※ 有沼 良幸 ※	3	通年	4 単位	必修
34	血液学 II	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における検査の意義や治療法などについて概説する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※	3	前期	2 単位	必修
35	血液学実習	病院などでの実務の経験を踏まえ、血液疾患における基本的検査と採血法について指導する。	堀江 良一	堀江 良一 ※ 佐藤 隆司 ※ 渡邊真理子 ※	3	後期	1 単位	必修
36	臨床化学 II	臨床検査技師や研究者として病院や研究所での臨床・研究経験を踏まえ、臨床化学の意義及び実際の臨床化学検査がどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 小島 史章 ※	3	前期	2 単位	必修
37	臨床化学実習	臨床検査技師や研究者として病院や研究所での臨床・研究経験を踏まえ、臨床化学実習の意義及び実際の臨床化学検査がどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 廣渡 祐史 ※ 長島 真美 ※ 齊藤 央 ※	3	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

38	免疫検査学Ⅱ	医師および研究者としての免疫検査に関する実務経験を活かし、免疫検査の原理・背景に重点を置いて概説する。	川村 俊彦	川村 俊彦 ※ 久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	3	前期	2 単位	必修
39	免疫検査学実習	医師および研究者としての免疫検査に関する実務経験を活かし、実際の免疫検査がどのように展開されるかを概説する。	川村 俊彦	川村 俊彦 ※ 久保 誠 ※ 太田 悦朗 ※	3	前期	1 単位	必修
40	臨床生理学ⅠB	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査がどのように行われているのかを臨床的に概説する。	片桐 真人	片桐 真人 ※ 横場 正典 ※ 荒幡 篤 ※ 榎田 喜之 ※ 田 久美 ※ 柳原美智子 ※ 藤井 滋 ※	3	前期	2 単位	必修
41	臨床生理学Ⅱ（画像検査学含）	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査方法がどのように行われているのかを概説する。	横場 正典	横場 正典 ※ 片桐 真人 ※ 永野 幸一 ※	3	後期	2 単位	必修
42	臨床生理学実習	病院での臨床経験を踏まえ、生理検査学の意義及び実際の検査方法がどのように行われているのかを実践かつ概説する。	片桐 真人	片桐 真人 ※ 横場 正典 ※ 石井 直仁 ※ 松永 篤彦 ※ 神谷 健太郎 ※ 小倉 彩 ※ 荒幡 篤 ※ 鈴木 淳子 ※ 榎田 喜之 ※ 小幡 進 ※ 姫田 久美 ※ 中西 久幸 ※ 石田 裕美 ※ 小野山志織 ※	3	前期	1 単位	必修
43	検査機器学	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、検査機器学の意義及び実際の臨床検査でどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 佐藤 隆司 ※ 中村 正樹 ※ 久保 誠 ※ 藤村 善行 ※	3	前期	1 単位	必修
44	検査管理学	臨床検査技師として病院での臨床経験を踏まえ、検査管理学の意義及び実際の臨床検査でどのように展開されるのかを概説する。	石井 直仁	石井 直仁 ※ 黒崎 祥史 ※ 井本 明美 ※ 宇治橋善勝 ※ 内田 一弘 ※	3	前期	1 単位	必修
45	臨床細胞学	病院、検査センター、研究所、企業での臨床経験を踏まえ、細胞診の意義及び実際の判定、診断がどのように展開されるのかを概説する。	古田 玲子	古田 玲子 ※ 西村由香里 ※ 阿部 直也 ※	3	前期	2 単位	必修
46	臨床細胞学実習	病院、検査センター、研究所、企業での臨床経験を踏まえ、細胞診の意義及び実際の判定、診断がどのように展開されるのかを概説する。	古田 玲子	古田 玲子 ※ 西村由香里 ※ 阿部 直也 ※	3	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

51	卒業研究 [4年]	片桐 真人	北里 英郎 中村 正樹 前祥太郎 川花彦 久村誠 太田悦朗 高橋博之 土屋紅緒 佐藤雄一 鉢村和男 長塩亮一 堀江良一 佐藤隆司 渡邊真理子 古田玲子 西村由香里 阿部直也 片桐真人 横場正典 石井直仁 黒崎祥史 井本明美 丸山弘子 市川尊文 川上文貴 川島麗 前川達則 石橋仁 秋田久直 緒形雅則 濱田幸恵 門谷裕一 小畑秀一 田口明子 林徹 木村武俊 小島史章 稻岡秀 守田憲 有阪直哉 研究委員	4	通年	5 単位	必修
52	細胞検査士コース	古田 玲子	古田 玲子 ※ 西村由香里 ※ 阿部直也 ※ 高橋博之 ※ 佐藤俊将 ※ 松本和努 ※ 山下和也 ※ 横山大 ※ 柿沼廣邦 ※ 横澤正志 ※ 柿沼優美 ※ 坂口忍 ※ 大部誠 ※ 浅見英一 ※ 五十嵐清子 ※ 池田勝秀 ※ 池畑浩一 ※ 石山功二 ※ 伊藤仁 ※ 稲垣敦史 ※ 大野千絵 ※ 大野喜作 ※ 大橋健一 ※ 岡田ゆり子 ※ 加戸伸明 ※ 加藤生真 ※ 加藤拓 ※ 川井麻衣子 ※ 岸本浩次 ※ 草苺宏有 ※ 窪田真弓 ※ 桑尾定仁 ※ 郡秀一 ※ 腰高豊 ※ 佐々木栄司 ※ 佐藤由紀子 ※ 高澤豊 ※ 照井仁美 ※ 仲村武士 ※ 平田哲士 ※ 古田則行 ※ 古旗淳 ※ 町田知久 ※ 松井成明 ※ 三宅真司 ※ 山田正人 ※	4	通年	5 単位	自由

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 医療工学科 臨床工学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 解剖学 I	-	小畑 秀一	小畑 秀一 木村 武俊	1	後期	2 単位	必修
2 生理学 I	-	緒形 雅則	緒形 雅則	1	後期	2 単位	必修
3 公衆衛生学	研究機関における生活習慣病 予防活動を具体的に概説す る。 公的機関での短期専門家とし てインドネシア共和国に派遣 され、衛生における研究や教 育の指導に携わった経験を踏 まえ、環境問題解決の基本的 な考え方や上下水道整備の意 義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	1	後期	2 単位	必修
4 電気工学 I	-	小川恵美悠	小川恵美悠	1	後期	2 単位	必修
5 医用工学総論	病院での臨床経験を踏まえ、 病院における臨床工学技士の 役割について解説する。また、 企業での機器開発経験を踏 まえ、臨床における工学の 応用について概説する。	氏平 政伸	廣瀬 稔 ※ 熊谷 寛 ※ 氏平 政伸 ※ 稲岡 秀俊 ※ 久保田 勝 ※ 小久保謙一 ※ 酒井 利奈 ※ 塚尾 浩 ※ 守田 憲崇 ※ 小川恵美悠 ※ 小林こず恵 ※ 吉田 和弘 ※ 小菅 智裕 ※ 小川 貴康 ※ 馬 清資 ※	1	前期	2 単位	必修
6 医用機器学 I (演習含)	企業での機器開発経験を踏ま え、生体計測装置の原理と構 造について解説する。	氏平 政伸	氏平 政伸 ※ 鉢村 和男	1	後期	1 単位	必修
7 医用機器学 II (演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、 使用機器について解説する。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 小久保謙一	1	後期	1 単位	必修
8 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、 実践的なチーム医療の意義や 必要性、チーム医療における コミュニケーションの重要性 や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田明子 ※ 齋藤有紀子 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

9	解剖学Ⅱ	-	小畑 秀一	小畑 秀一	2	前期	2 単位	必修
10	生理学Ⅱ (演習含)	-	緒形 雅則	緒形 雅則	2	前期	1 単位	必修
11	解剖・生理学実習	解剖学分野では、病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされる場所に重点を置いて教授する。また、生理学分野では、研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	門谷 裕一	門谷 裕一 小畑 秀一 ※ 田口 明子 徹 ※ 林 武俊 仁 ※ 木村 橋久直 ※ 石橋 久直 雅則 ※ 秋田 史章 ※ 緒形 幸恵 ※ 小島 幸恵 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
12	病理学	病院、企業などでの病理学に関する業務の経験を踏まえ、疾病の発症機構、病態、病理所見を概説する。	高橋 博之	高橋 博之 ※ 松本 俊英 ※	2	前期	2 単位	必修
13	生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究結果が人体を理解する上でどのように役立っているか概説する。	川島 麗	川島 麗 ※ 市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 前川 達則	2	後期	2 単位	必修
14	応用数学Ⅰ	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	前期	2 単位	必修
15	応用数学Ⅱ (演習含)	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	後期	1 単位	必修
16	電気工学Ⅱ	企業での機器開発経験を踏まえ、臨床分野で電気工学を学ぶ必要性や実用例の紹介を行う。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	2	前期	2 単位	必修
17	電気工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いた測定系について実例を挙げて解説する。 企業での機器開発経験を踏まえ、医用電気工学の基礎的な原理解説や、回路組立てと安全に実験を遂行するための指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 恵美 悠 ※ 小菅 智裕 ※	2	後期	1 単位	必修
18	電子工学Ⅰ	-	熊谷 寛	熊谷 寛	2	後期	2 単位	必修
19	情報処理工学Ⅰ	-	有阪 直哉	有阪 直哉	2	前期	2 単位	必修
20	システム工学	-	酒井 利奈	酒井 利奈	2	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

21	システム工学実習	企業での機器開発経験を踏まえ、制御工学の応用例について解説し、病院や企業で実務上必要とされるチーム力を身につけるための（チームビルディング）指導を行う。	吉田 和弘	吉田 和弘 ※ 氏平 政伸 ※ 酒井 利奈	2	前期	1 単位	必修
22	英語 C	-	小久保謙一	小久保謙一	2	通年	2 単位	必修
23	計測工学	企業での機器開発経験を踏まえ、実務上必要とされる計測工学の基礎とそれがどのように応用されているかについて解説する。	酒井 利奈	酒井 利奈 ※ 吉田 和弘	2	前期	2 単位	必修
24	生体計測装置学（演習含）	病院での臨床経験を踏まえて、生体計測装置の操作や装置利用による診断について解説する。企業での機器開発経験を踏まえ、装置の原理・構造について解説する。	氏平 政伸	片桐 真人 ※ 氏平 政伸 ※ 酒井 利奈 ※ 吉田 和弘 ※ 姫田 久美 ※ 宇治橋 善勝 ※ 荒幡 篤 ※ 鈴木 保 ※ 大田 未知 ※	2	通年	2 単位	必修
25	生体計測装置学実習	企業での機器開発経験を踏まえ、装置の原理・構造について解説する。	吉田 和弘	吉田 和弘 ※ 氏平 政伸 ※ 酒井 利奈	2	後期	1 単位	必修
26	医用治療機器学	病院での臨床経験を踏まえ、手術室等で用いられる治療機器の実際的な運用や保守点検について解説する。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 小川 美悠 ※ 小林 こず恵 ※ 小川 貴康 ※ 大島 弘之 ※ 早速 慎吾 ※ 藤井 正実 ※ 武田 章数 ※ 立野 聡 ※	2	通年	3 単位	必修
27	生体機能代行装置学 I	病院での臨床経験を踏まえ、呼吸療法に関する実務について解説する。	久保田 勝	久保田 勝 ※ 塚尾 浩 ※ 小川 貴康 ※ 早速 慎吾 ※ 木下 春奈 ※ 佐々木 健 ※	2	後期	4 単位	必修
28	生体機能代行装置学 II	病院での臨床経験を踏まえ、心臓手術における体外循環装置および補助循環装置の意義及び実際の手術や生命維持管理装置の操作などを概説する。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 小久保謙一 ※ 鳥井 晋三 ※ 北村 律 ※ 宮本 隆司 ※ 東條 圭一 ※ 古平 聡 ※ 藤井 正実 ※ 木下 春奈 ※ 大島 弘之 ※	2	後期	4 単位	必修
29	生体機能代行装置学実習 I	病院での臨床経験を踏まえ、人工呼吸器の操作・保守点検について実技指導を行う。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 小川 貴康 ※ 中村 恭子 ※	2	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

30	臨床医療学 I	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 釘持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木 治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川 力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
31	薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているか概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	3	後期	2 単位	必修
32	電子工学 II	-	熊谷 寛	熊谷 寛	3	前期	2 単位	必修
33	電子工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について実例を挙げて解説する。 企業での機器開発経験を踏まえ、医用電子工学における原理や応用例の解説、回路組立て・実験を安全に遂行するための実習指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 恵美悠 ※ 小菅 智裕 ※	3	後期	1 単位	必修
34	医用機械工学	企業での機器開発経験を踏まえ、医用機械の原理と構造を解説する。	氏平 政伸	氏平 政伸 ※ 酒井 利奈 ※ 吉田 和弘 ※	3	通年	3 単位	必修
35	情報処理工学 II (演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、デジタル信号処理を学ぶ意義及び実際の臨床現場でデジタル信号処理がどのように展開されるのかを概説する。	守田 憲崇	守田 憲崇 ※	3	通年	2 単位	必修
36	英語 D	-	氏平 政伸	Henry Curtley	3	前期	1 単位	必修
37	物性・材料工学	-	小久保謙一	小久保謙一 酒井 利奈 稲岡 秀検 小林 こそ恵	3	通年	4 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

38	医用治療機器学実習	病院での臨床経験を踏まえ、各種治療用機器の適切な操作方法について解説する。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※ 海老根智代 ※	3	前期	1 単位	必修
39	生体機能代行装置学Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、血液浄化部門における臨床工学技士の業務について解説する。	小久保謙一	小久保謙一 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※ 吉田 一成 ※ 小林 直之 ※ 山家 敏彦 ※ 峰島三千男 ※ 松崎 圭祐 ※	3	前期	4 単位	必修
40	生体機能代行装置学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、体外循環装置と補助循環装置の原理・構造、操作方法を概説し実習指導を行う。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 塚尾 浩 ※ 小川 貴康 ※ 大島 弘之 ※ 海老根智代 ※	3	前期	1 単位	必修
41	生体機能代行装置学実習Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、血液浄化療法に関わる生体機能代行装置の適切な操作方法について解説する。	小久保謙一	小久保謙一 ※ 塚尾 浩 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※	3	後期	1 単位	必修
42	機器安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、医療機器の安全管理に必要な規格や管理方法、医療における臨床工学技士の役割などを概説をする。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 小林こず恵 ※ 東條 圭一 ※ 古平 聡 ※ 早速 慎吾 ※	3	通年	4 単位	必修
43	機器安全管理学実習	病院での臨床経験を踏まえ、医療機器の安全管理の考え方や管理方法などを実習指導する。	廣瀬 稔	廣瀬 稔 ※ 小林こず恵 ※ 小川 貴康 ※ 早速 慎吾 ※	3	後期	1 単位	必修
44	医療ケア安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、医療安全の法的な位置づけ等について解説を行う。	塚尾 浩	塚尾 浩 ※ 廣瀬 稔 ※ 渡部麻衣子 ※ 城戸 滋里 ※ 小林こず恵 ※ 鍵谷 豪 ※	3	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 医療工学科 診療放射線技術科学専攻〕

	科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1	解剖学 I	-	小畑 秀一	小畑 秀一 木村 武俊	1	後期	2 単位	必修
2	生理学 I	-	緒形 雅則	緒形 雅則	1	後期	2 単位	必修
3	医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	選択
4	放射線物理学	-	長谷川智之	長谷川智之	1	通年	4 単位	必修
5	放射線生物学 I	研究センターでの高度専門教育の経験を踏まえ、放射線の生物作用を概説する。	鍵谷 豪	鍵谷 豪 ※ 兵藤 文紀	1	後期	2 単位	必修
6	チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田明子 ※ 齋藤有紀子 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
7	英語C	-	下野 哲範	Henry Curtley	2	後期	1 単位	必修
8	解剖学 II	-	小畑 秀一	小畑 秀一	2	前期	1 単位	必修
9	生理学 II (演習含)	-	緒形 雅則	緒形 雅則	2	前期	1 単位	必修
10	病理学	研究機関での経験を踏まえ、病理学的基礎知識が臨床の専門分野の礎となることを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※	2	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

11	生化学	研究所での研究経験や病院での臨床経験を踏まえ、生化学を基礎とするライフサイエンス領域の研究成果が人体を理解する上でどのように役立っているか概説する。	川上 文貴	市川 尊文 ※ 川上 文貴 ※ 川島 麗 ※ 前川 達則 ※	2	後期	2 単位	必修
12	応用数学 I	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	前期	2 単位	必修
13	医用工学	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※	2	前期	2 単位	必修
14	医用工学実習	研究所での経験を踏まえ、実際の工場などで用いられる、電子デバイスを用いての測定系について実例を挙げて解説する。 企業での機器開発経験を踏まえ、医用工学における原理や応用例の解説、回路組立て・実験を安全に遂行するための実習指導を行う。	熊谷 寛	稲岡 秀検 ※ 小川 恵美悠 ※ 有阪 直哉 ※ 小菅 智裕 ※	2	後期	1 単位	必修
15	臨床医療学 I	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 鈿持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 閱子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木 治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川 力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
16	放射線臨床病態薬理学	病院等での実務経験を踏まえ、放射線検査における種々の薬剤の薬理効果を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ 小島 史章 ※ 佐々木 徹 ※	2	前期	1 単位	必修
17	臨床医療学 II	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 北村 律 ※ 望月 純子 ※ 松本 和将 ※ 塩見 和 ※ 石井 大輔 ※ 岩瀬 大 ※ 恩田 貴志 ※	2	後期	1 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

18	臨床医療学Ⅲ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	選択
19	情報処理工学	病院での臨床経験を踏まえ、デジタル信号処理を学ぶ意義及び実際の臨床現場でデジタル信号処理がどのように展開されるのかを概説する。	守田 憲崇	守田 憲崇 ※	2	後期	1 単位	選択
20	診療技術英語	病院での臨床経験を踏まえ、診療放射線技師検査に必要な基本的英語を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ 下野 哲範 ※ 原 秀剛 ※	2	後期	1 単位	必修
21	医用物理学	-	長谷川智之	長谷川智之	2	前期	1 単位	必修
22	放射線生物学Ⅱ	研究センターでの高度専門教育の経験を踏まえ、放射線の生物作用を概説する。	鍵谷 豪	鍵谷 豪 ※ 畑下 昌範 ※	2	前期	1 単位	必修
23	放射線計測学	-	村石 浩	村石 浩	2	後期	2 単位	必修
24	放射化学	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、放射性同位元素の取扱い・応用を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※	2	前期	2 単位	必修
25	画像解剖学	病院での臨床経験を踏まえ、放射線検査画像の基礎知識を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※	2	前期	2 単位	必修
26	診療画像技術学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、X線単純撮影法の基礎知識を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 水上 慎也 ※	2	前期	2 単位	必修
27	診療画像技術学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、X線造影撮影法の基礎知識を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 水上 慎也 ※	2	後期	2 単位	必修
28	画像診断機器工学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、X線画像診断機器の基礎知識を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	2	後期	2 単位	必修
29	核医学技術学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、核医学検査装置の基礎知識を概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	2	後期	2 単位	必修
30	放射線治療技術学Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療装置の基礎知識を概説する。	下野 哲範	下野 哲範 ※ 渡邊 祐介 ※	2	後期	2 単位	必修
31	画像工学	病院での臨床経験を踏まえ、医用画像の評価法及び画像処理技術を概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	2	前期	2 単位	必修
32	画像情報学	病院での臨床経験を踏まえ、医用画像を扱う上で必須となるフーリエ変換について概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	2	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

33	放射線管理学	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験並びに安全管理の経験を踏まえて、放射線の管理技術及び安全取扱法を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 鍵谷 豪 ※	2	前期	2 単位	必修
34	放射線管理学・計測学実習	臨床経験及び研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、放射線の管理技術及び安全取扱法の実習を行う。	村石 浩	村石 浩 ※ 長谷川智之 ※ 鍵谷 豪 ※ 佐々木 徹 ※ THET THET LWIN ※	2	後期	1 単位	必修
35	臨床実習 I	病院での臨床経験を踏まえ、X線画像、MRI画像の撮影（像）法、画像評価法及び被ばく線量評価についての実習を行う。	水上 慎也	水上 慎也 ※ 五味 勉 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 新任教員	2	後期	1 単位	必修
36	放射化学演習	病院及び研究所での臨床及び放射線安全管理の経験を踏まえて、放射線取扱主任者試験の重要事項を概説する。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 長谷川智之 ※ 鍵谷 豪 ※ 橋本 成世 ※	2	後期	1 単位	選択
37	医用放射線計測学	病院での臨床経験を踏まえ、医療における放射線計測の基礎知識を概説する。	橋本 成世	橋本 成世 ※ 村石 浩	3	前期	1 単位	必修
38	診療画像技術学Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、CT検査、超音波、眼底検査の基本原則、撮像技術及び画像解剖を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 半田 知也 ※ 宇治橋善勝 ※ 塙 宏典 ※	3	前期	2 単位	必修
39	診療画像技術学Ⅳ	病院での臨床経験を踏まえ、MRI検査の基本原則、撮像技術及び画像解剖を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 水上 慎也 ※	3	前期	2 単位	必修
40	画像診断機器工学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、最新の画像診断機器の撮像原理、動作特性及び画像の特徴を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	3	前期	1 単位	必修
41	画像診断機器工学実習	病院での臨床経験を踏まえ、画像診断機器の性能評価、動作特性及び精度管理について実習を行う。	原 秀剛	原 秀剛 ※ 長谷川智之 ※ 村石 浩 ※ 坂口 和也 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 渡邊あゆみ ※	3	前期	1 単位	必修
42	核医学技術学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、核医学検査の目的、用いる放射性医薬品とその集積原理及び臨床的意義を臓器ごとに概説する。	坂口 和也	坂口 和也 ※	3	前期	2 単位	必修
43	核医学技術学・放射化学実習	病院及び研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験を踏まえて、核医学検査でのデータ収集法、装置の本質管理、線量評価について実習を行う。	佐々木 徹	佐々木 徹 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 橋本 成世 ※ 菊池 敬 ※	3	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

44	放射線腫瘍学	病院での臨床経験を踏まえ、各疾患における放射線治療法や治療に伴う有害事象とその予防と対策について概説する。	下野 哲範	下野 哲範 ※ 渡邊 祐介 ※ 早川 和重 ※ 石山 博條 ※ 早田 格 ※ 関口 茜衣 ※ 川上 正悟 ※ 早川 豊和 ※ 稲田 龍司 ※	3	前期	2 単位	必修
45	放射線治療技術学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療技術の臨床現場への応用を概説する。	下野 哲範	下野 哲範 ※ 渡邊 祐介 ※ 稲田 龍司 ※	3	前期	2 単位	必修
46	放射線治療技術学実習	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療計画装置を使用して代表的な疾患に対する治療計画策定について実習を行う。	渡邊 祐介	渡邊 祐介 ※ 下野 哲範 ※ 村石 浩 ※ 水上 慎也 ※ 橋本 成世 ※ 新任教員	3	前期	1 単位	必修
47	医療情報工学	研究センター等での高度専門教育の経験を踏まえ、医療情報工学に関わる診療放射線技師国家試験問題を概説する。	村石 浩	村石 浩 ※ 坂口 和也 ※ 橋本 成世 ※	3	前期	2 単位	必修
48	医用画像処理Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、画像処理の原理及び応用技術について臨床画像を提示し概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※ 下野 哲範 ※ 水上 慎也 ※ 新任教員	3	前期	1 単位	必修
49	放射線関係法規	研究所における高度な放射線・放射性同位元素の医学利用及び研究経験並びに安全管理の経験を踏まえて、放射線業務を遂行する上で必要な関係法規を概説する。	鍵谷 豪	鍵谷 豪 ※ 佐々木 徹 ※	3	前期	1 単位	必修
50	臨床実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、X線画像、MRI画像及び超音波画像の撮影（像）法についての実習を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 坂口 和也 ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 小林 剛 ※	3	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

51	臨床実習Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、臨床病院の診療放射線技師と共に医療現場に必要な責任及び業務の範囲を実習を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 上原 憲二 ※ 菊池 敬真 ※ 相澤 司公 ※ 神宮 浩一 ※ 田上 公紀 ※ 此川 武晴 ※ 坂本 尊宣 ※ 徳重 宏典 ※ 境 博文 ※ 秦 博文 ※ 蔭山 紀子 ※ 常木 武士 ※ 稲田 龍司 ※ 久保田 勝巳 ※ 岩崎 隆生 ※ 峯 健次 ※ 中嶋 規容 ※ 渡邊 あゆみ ※ 大関 裕介 ※ 永原 和憲 ※ 洲崎 義弘 ※ 上野 勉 ※ 岩崎 修一 ※ 岩田 雅巳 ※ 小林 剛 ※ 田口 正弓 ※ 飯野 進 ※ 坂本 哲也 ※ 小泉 健 ※ 小林 隆幸 ※ 安富 蔵人 ※ 鈴木 敏司 ※ 松村 秀憲 ※ 秦 千都 ※ 田中 禎人 ※ 関 将志 ※ 伊熊 秀記 ※ 小見 正太郎 ※ 宮武 比呂樹 ※ 高松 太郎 ※	3	通年	8 単位	必修
52	医療安全管理学	病院での臨床経験を踏まえ、医療現場に必要な医療安全管理の考え方、危機管理対策及び感染管理について概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 水上 慎也 ※ 藤木 くに子 ※ 神宮 司公 ※ 菊池 敬 ※ 川又 郁夫 ※	3	前期	1 単位	必修
53	診療画像科学	病院での臨床経験を踏まえ、MRI検査と核医学検査における基礎から臨床応用を概説する。	水上 慎也	水上 慎也 ※	3	前期	1 単位	選択
54	放射線治療物理学	病院での臨床経験を踏まえ、放射線治療における加速器の原理や物理量と放射線の性質を概説する。	橋本 成世	渡邊 祐介 ※ 橋本 成世 ※ 石上 稔 ※	3	前期	1 単位	選択
55	放射線管理学演習	病院及び研究所での臨床及び放射線安全管理の経験を踏まえ、放射線取扱主任者試験の重要事項を概説する。	橋本 成世	橋本 成世 ※ 佐々木 徹 ※	3	前期	1 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

56	核医学・画像診断学	病院での臨床経験を踏まえ、全身の疾患に関する臨床画像診断を概説する。	THET THET LWIN	THET THET LWIN ※ ウッドハムス玲子 ※ 原留 弘樹 ※ 禹 潤 ※	4	前期	4 単位	必修
57	診療放射線技術科学総合演習	病院や研究所での実務経験を踏まえ、診療放射線技師国家試験に関わる項目の演習を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 長谷川智之 ※ 下野 哲範 ※ 稲岡 秀検 ※ 佐々木 徹 ※ 村石 浩 ※ 鍵谷 豪 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 原 秀剛 ※ 橋本 成世 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※	4	通年	7 単位	必修
58	卒業研究	病院での臨床経験を踏まえ、4年間で学ぶ知識や技術に応じた研究テーマを与える。研究をまとめて口頭発表及び論文作成ができるための指導を行う。	五味 勉	五味 勉 ※ 長谷川智之 ※ 下野 哲範 ※ 佐々木 徹 ※ 村石 浩 ※ 鍵谷 豪 ※ 坂口 和也 ※ THET THET LWIN ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 橋本 成世 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	必修
59	放射線科学特論	病院での臨床経験を踏まえ、医学物理学分野の実践的技術、研究トピックス及び最近の動向を概説する。	長谷川智之	長谷川智之 ※ 橋本 成世 ※ 石上 稔 ※ 佐々木 節 ※ 永江 知文 ※ 橘 英伸 ※ 花田 剛士 ※	4	前期	1 単位	選択
60	診療画像技術学特論	病院での臨床経験を踏まえ、DR、CT、MRI、IGRT等の技術を用いた最新の画像技術、放射線治療技術の最前線に関して学び、将来動向を概説する。	五味 勉	五味 勉 ※ 下野 哲範 ※ 原 秀剛 ※ 渡邊 祐介 ※ 水上 慎也 ※ 小林 隆幸 ※	4	前期	1 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 解剖学 I	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	1	後期	2 単位	必修
2 生理学 I	-	秋田 久直	秋田 久直	1	後期	2 単位	必修
3 リハビリテーション概論	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションに関する基礎的知識を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 半田 知也 ※ 東條美奈子 ※ 坂本 美喜 ※ 幅田 智也 ※ 原 由紀 ※ 榎原 七重 ※	1	後期	1 単位	必修
4 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐 真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
5 理学療法学概論	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法の概要を解説する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 佐藤 春彦 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 柴 喜崇 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 神谷健太郎 ※ 今崎 牧生 ※	1	前期	2 単位	必修
6 臨床実習 I	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	坂本 美喜	松永 篤彦 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※	1	後期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

7	チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 洪谷 明隆 ※ 伊勢 田明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
8	解剖学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	2	前期	2 単位	必修
9	解剖学実習Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、筋・骨格についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹 木村 武俊	2	前期	1 単位	必修
10	解剖学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、実際の人の身体についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹 木村 武俊	2	通年	1 単位	必修
11	生理学Ⅱ	-	秋田 久直	秋田 久直	2	前期	2 単位	必修
12	生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋 仁 ※ 秋田 久直 ※ 緒形 雅則 ※ 小島 史章 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
13	病理学	研究機関での経験を踏まえ、病理学的基礎知識が臨床的専門分野の礎となることを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※	2	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

14	臨床医療学Ⅰ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THE T LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 釘持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 閱子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木 治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川 力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
15	臨床医療学Ⅱ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 北村 律子 ※ 望月 純和 ※ 松本 将和 ※ 塩見 大輔 ※ 石井 大志 ※ 岩瀬 大志 ※ 恩田 貴志 ※	2	後期	1 単位	必修
16	臨床医療学Ⅲ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷 浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	必修
17	整形外科学	病院での実務経験を踏まえ、メディカルスタッフが対象とする整形外科疾患の病態、治療法について教授する。	高平 尚伸	高平 尚伸 ※ 酒井 利奈 ※ 松浦 晃正 ※ 齋藤 巨士 ※ 助川 浩士 ※	2	後期	1 単位	必修
18	臨床心理学Ⅰ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
19	臨床心理学Ⅱ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	2	後期	2 単位	必修
20	発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
21	生体運動分析学	病院での臨床経験を基に、患者に見られる姿勢と運動の力学を解説する。	佐藤 春彦	佐藤 春彦 ※	2	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

34	臨床理学療法学Ⅰ(実習含)	病院での臨床経験を基に、理学療法を進め方について紙上症例を用いて解説する。	坂本 美喜	坂本 美喜 ※	2	後期	1 単位	必修
35	臨床実習Ⅱ	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	神谷健太郎	松永 篤彦 ※ 佐藤 春彦 ※ 清水 忍 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山 美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷 健太郎 ※ 小倉 彩 ※	2	後期	1 単位	必修
36	リハビリテーション医学	病院での臨床経験を踏まえ、各専門職種の見点から、リハビリテーション医学に必要な知識について教授する。	東條美奈子	東條美奈子 ※ 片桐 真人 ※ 堀口 利之 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 佐野 肇 ※ 半田 知也 ※ 榊原 七重 ※ 中澤 祐則 ※ 頼住 孝二 ※ 宮城 正行 ※	3	前期	2 単位	必修
37	医療統計学	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。 病院での臨床経験を踏まえ、医療における統計学の重要性及び実際の統計を使用したデータ処理がどのように展開されるのかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※ 守田 憲崇 ※	3	後期	2 単位	必修
38	理学療法研究法	病院や施設での臨床研究の経験を踏まえ、臨床研究の進め方を概説する。	東條美奈子	東條美奈子 ※	3	後期	2 単位	必修
39	高次脳機能障害理学療法学(実習含)	病院や施設での臨床経験を踏まえ、高次脳機能障害に対する理学療法の習得を援助する。	清水 忍	清水 忍 ※ 福田 倫也 ※ 秦 若菜 ※	3	前期	1 単位	必修
40	臨床理学療法学Ⅱ	病院や施設での臨床経験を踏まえ、整形外科疾患ならびに中枢神経疾患を対象とした理学療法を実施するための臨床的問題解決能力を育成する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 小倉 彩 ※ 神谷 健太郎 ※	3	通年	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

41	臨床理学療法学Ⅱ実習	病院や施設での臨床経験を踏まえ、主に整形外科疾患ならびに中枢神経疾患を対象とした理学療法を実施するための臨床的問題解決能力を実技を中心に育成する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 清水 忍 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 佐藤 春彦 ※ 坂本 美喜 ※ 横山 美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷 健太郎 ※ 小倉 彩 ※ 平賀 よしみ ※ 春日 美保 ※ 藤橋 紀行 ※ 宮城 しほ ※ 平野 篤史 ※	3	通年	2 単位	必修
42	小児理学療法学	病院での臨床経験を踏まえ、小児理学療法の意義及び実際がどのように展開されるのかを概説する。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 野村 優子 ※	3	前期	2 単位	必修
43	小児理学療法学実習	病院や施設での臨床経験を基に、小児理学療法を展開するための実習を行う。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 脇口 恭生 ※	3	通年	1 単位	必修
44	義肢装具学	病院での臨床経験を踏まえ、義肢装具の意義及び理学療法の実際がどのように展開されるのかを概説する。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 幅田 智也 ※	3	前期	1 単位	必修
45	義肢装具学実習	病院や施設での臨床経験を基に、義肢装具に関する理学療法実習を行う。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 幅田 智也 ※ 曾我 敏雄 ※ 和田 夏樹 ※	3	前期	1 単位	必修
46	日常生活活動学	病院での臨床経験を基に、日常生活動作の障害に対する評価・支援の方法を解説する。	上出 直人	上出 直人 ※	3	前期	1 単位	必修
47	日常生活活動学実習	病院での臨床経験を基に、日常生活動作に障害を有する対象者への支援方法について実習する。	上出 直人	上出 直人 ※	3	通年	1 単位	必修
48	物理療法学（実習含）	病院での臨床経験を基に、物理療法の作用機序と臨床適用について解説する。	坂本 美喜	坂本 美喜 ※ 渡邊 裕之 ※	3	前期	2 単位	必修
49	整形外科系理学療法学	病院での臨床経験を踏まえ、整形外科系理学療法の意義及び臨床への適応について解説する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 高平 尚伸 ※	3	前期	2 単位	必修
50	整形外科系理学療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、整形外科系理学療法の意義及び臨床への適応について解説する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 高平 尚伸 ※ 鳥居 昭久 ※	3	通年	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

51	内部障害系理学療法学	病院や施設での臨床経験を踏まえ、内部障害者に対する理学療法について、指導および援助を行う。	神谷健太郎	神谷健太郎 ※ 松永 篤彦 ※ 横場 正典 ※ 濱崎 伸明 ※ 高倉 保幸 ※ 佐々木治一郎 ※ 野崎 康平 ※ 國澤 洋介 ※	3	後期	2 単位	必修
52	内部障害系理学療法学実習	病院や施設での臨床経験を踏まえ、内部障害者に対する理学療法についての実習指導を行う。	神谷健太郎	神谷健太郎 ※ 松永 篤彦 ※ 小倉 彩 ※ 小池 朋孝 ※ 見井田和正 ※ 濱崎 伸明 ※	3	通年	1 単位	必修
53	中枢神経系理学療法学	病院や施設での臨床経験を踏まえ、中枢神経疾患に対する理学療法目的、方法を指導する。	清水 忍	清水 忍 ※	3	前期	1 単位	必修
54	中枢神経系理学療法学実習	病院や施設での臨床経験を踏まえ、中枢神経疾患に対する理学療法評価、治療、検査等についての実習指導を行う。	清水 忍	清水 忍 ※ 柴 喜崇 ※ 藤縄 光留 ※ 藤橋 紀行 ※ 鈴木 良和 ※	3	通年	1 単位	必修
55	老年理学療法学	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説する。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※	3	前期	1 単位	必修
56	老年理学療法学実習	病院及び複数自治体との協働事業での経験を踏まえ、老いる社会のメカニズム、高齢社会に資する計画及びその実際の対策について概説するとともに実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※ 上出 直人 ※ 河村 晃依 ※ 中田 晴美 ※	3	通年	1 単位	必修
57	地域理学療法学	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説する。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※	3	後期	1 単位	必修
58	地域理学療法学実習	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説するとともに実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※ 上出 直人 ※ 宇野 潤 ※ 大森 豊 ※ 阿部 勉 ※	3	後期	1 単位	必修
59	生体運動学特論	-	佐藤 春彦	佐藤 春彦	3	後期	1 単位	選択
60	小児理学療法学特論(実習含)	病院や施設での臨床経験を踏まえ、小児理学療法最新の研究や実践を概説し、実習も行う。	横山美佐子	横山美佐子 ※ 平井 孝明 ※ 原 由紀 ※	3	後期	1 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

61	老年理学療法学特論(実習含)	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説するとともに、地域での実地見学実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※	3	後期	1 単位	選択
62	地域理学療法学特論(実習含)	病院のみならず複数自治体との協働事業での経験を基に、地域包括システムの原理を踏まえ、住み慣れた地域で最期まで生活維持するために必要な事項について概説するとともに地域での実地見学実習を行う。	柴 喜崇	柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 佐藤 春彦 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 河村 晃依 ※ 重田 美和 ※ 本橋 隆子 ※	3	後期	1 単位	選択
63	理学療法研究法実習	-	東條美奈子	松永 篤彦 高平 尚伸 東條美奈子 佐藤 春彦 柴 喜崇 清水 忍 坂本 美喜 渡邊 裕之 横山美佐子 上出 直人 神谷健太郎 小倉 彩	4	後期	1 単位	必修
64	理学療法学特論 I	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法の各専門分野の理解が深められるよう解説する。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 佐藤 春彦 ※ 清水 忍 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※	4	後期	1 単位	必修
65	理学療法学特論 II (実習含)	病院や施設での臨床経験を踏まえ、理学療法の実践に必要な知識を総合的に解説する。	上出 直人	上出 直人 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 神谷健太郎 ※	4	後期	1 単位	必修
66	臨床実習 III	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 東條美奈子 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※	4	前期	8 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

67	臨床実習Ⅳ	病院や施設での臨床経験を踏まえ、学生の臨床実習における指導および援助を行う。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 東條美奈子 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜子 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※	4	前期	8 単位	必修
68	卒業研究	病院や施設での臨床研究の経験を踏まえ、各専門分野の視点から、学生の研究指導にあたる。	松永 篤彦	松永 篤彦 ※ 高平 尚伸 ※ 東條美奈子 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 清水 忍 ※ 渡邊 裕之 ※ 坂本 美喜子 ※ 横山美佐子 ※ 上出 直人 ※ 神谷健太郎 ※ 小倉 彩 ※ 研究委員	4	通年	5 単位	必修
69	整形外科系理学療法学特論(実習含)	病院での臨床経験を踏まえ、整形外科理学療法の意義及び臨床への適応について解説する。	渡邊 裕之	渡邊 裕之 ※ 加賀谷善教 ※	4	後期	1 単位	選択
70	中枢神経系理学療法学特論	病院や施設での臨床や研究の経験を踏まえ、中枢神経疾患に関する専門的な臨床・研究の指導にあたる。	清水 忍	清水 忍 ※	4	後期	1 単位	選択
71	内部障害系理学療法学特論	病院や施設での臨床や研究の経験を踏まえ、内部障害に対する専門的な臨床・研究の指導にあたる。	神谷健太郎	神谷健太郎 ※ 松永 篤彦 ※ 東條美奈子 ※	4	後期	1 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 解剖学 I	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	1	後期	2 単位	必修
2 生理学 I	-	秋田 久直	秋田 久直	1	後期	2 単位	必修
3 リハビリテーション概論	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションに関する基礎的知識を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 半田 知也 ※ 東條美奈子 ※ 坂本 美喜 ※ 幅田 智也 ※ 原 由紀 ※ 榊原 七重 ※	1	後期	1 単位	必修
4 作業療法概論	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や実症例を挙げながら講義・演習を展開する。	高橋香代子	高橋香代子 ※ 幅田 智也 ※ 河村 晃依 ※ 前場 洋佑 ※	1	通年	2 単位	必修
5 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
6 臨床実習 I	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や職業倫理、接遇などに関して学生に伝える。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 高橋香代子 ※ 幅田 智也 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※ 前場 洋佑 ※	1	通年	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

7	チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 洪谷 明隆 ※ 伊勢 田明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
8	解剖学Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、人体解剖学の知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※	2	前期	2 単位	必修
9	解剖学実習Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、筋・骨格についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹俊 木村 武俊	2	前期	1 単位	必修
10	解剖学実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、実際の人の身体についての知識を臨床で必要とされるところに重点を置いて教授する。	田口 明子	田口 明子 ※ 門谷 裕一 小畑 秀一 林 徹俊 木村 武俊	2	通年	1 単位	必修
11	生理学Ⅱ	-	秋田 久直	秋田 久直	2	前期	2 単位	必修
12	生理学実習	研究所での研究経験を踏まえ、生体の機能がどのように解明されてきたのか概説する。	緒形 雅則	石橋 仁 ※ 秋田 久直 ※ 緒形 雅則 ※ 小島 史章 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	1 単位	必修
13	病理学	研究機関での経験を踏まえ、病理学的基礎知識が臨床的専門分野の礎となることを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※	2	前期	2 単位	必修
14	臨床心理学Ⅰ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
15	臨床心理学Ⅱ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	2	後期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

16	臨床医療学Ⅰ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐真人 ※ 福田倫也 ※ 堀口利之 ※ 石川均 ※ 堀江良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部俊宏 ※ 小林清典 ※ 隈元雄介 ※ 佐藤武郎 ※ 剣持学 ※ 熊澤憲一 ※ 近藤閱子 ※ 柴山啓子 ※ 小泉寛之 ※ 石戸謙次 ※ 東野俊洋 ※ 高山陽子 ※ 佐々木治一郎 ※ 服部潤 ※ 酒井健史 ※ 長谷川力也 ※ 土岐卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
17	臨床医療学Ⅱ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	高平 尚伸	高平尚伸 ※ 北村律 ※ 望月純子 ※ 松本和将 ※ 塩見和 ※ 石井大輔 ※ 岩瀬大 ※ 恩田貴志 ※	2	後期	1 単位	必修
18	臨床医療学Ⅲ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷浩邦 ※ 福田倫也 ※ 安藝良一 ※	2	後期	1 単位	必修
19	整形外科学	病院での実務経験を踏まえ、メディカルスタッフが対象とする整形外科疾患の病態、治療法について教授する。	高平 尚伸	高平尚伸 ※ 酒井利奈 ※ 松浦晃正 ※ 齋藤亘 ※ 助川浩士 ※	2	後期	1 単位	必修
20	精神医学	精神科医としての実務経験を踏まえ、精神障害の基礎知識に加えて、患者の状態に応じた接し方、治療において問題となる社会・家庭の要因についても解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	2	後期	1 単位	必修
21	薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているか概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	2	前期	2 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

22	公衆衛生学	公的機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	2	後期	2 単位	選択
23	社会系医療学	病院等での経験を踏まえ、社会福祉に関する概要や制度、ソーシャルワークの実際を講義する。	渡邊 誠	柴 喜崇 ※ 左右田 哲 ※ 中村 球惠 ※ 亀澤 有子 ※ 中村 奈奈 ※ 坪井 ゆり ※ 市川 賀一 ※ 提中 拓 ※	2	前期	1 単位	選択
24	発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	選択
25	心理学測定法	-	鈴木 恵子	鈴木 牧彦	2	後期	2 単位	選択
26	学習・認知心理学	-	鈴木 恵子	鈴木 牧彦	2	前期	2 単位	選択
27	医療情報学	-	稲岡 秀検	稲岡 秀検	2	前期	2 単位	選択
28	医療統計学	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。 病院での臨床経験を踏まえ、医療における統計学の重要性及び実際の統計を使用したデータ処理がどのように展開されるのかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※ 守田 憲崇 ※	2	後期	2 単位	選択
29	基礎作業学	病院での臨床経験を踏まえ、人にとっての生活行為の意味及び作業療法がどのように展開されるのかを概説する。	川口 敬之	高橋香代子 ※ 川口 敬之 ※	2	前期	1 単位	必修
30	基礎作業学実習	病院での臨床経験を踏まえ、作業分析及び実際の作業療法を想定した演習を実施する。	川口 敬之	高橋香代子 ※ 川口 敬之 ※	2	通年	1 単位	必修
31	作業療法評価学	病院での臨床経験を踏まえ、評価の意義及び臨床における評価がどのように展開されるのかを概説する。	渡辺 愛記	渡辺 愛記 ※	2	前期	2 単位	必修
32	作業療法評価学実習	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における評価の実践について実技を交えて実施する。	渡辺 愛記	渡辺 愛記 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※	2	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

33	運動学	病院での実務経験を踏まえ、臨床における人間工学と運動学的視点からの人間活動の捉え方を教授する。リハビリテーションにおける重要な動作分析や作業分析方法への展開を教授する。	幅田 智也	幅田 渡邊 智也 誠 ※※	2	通年	2 単位	必修
34	運動学実習	病院での実務経験を踏まえ、臨床における人間の活動に対する運動学的分析と運動力学的分析の方法について実技を交えて教授する。	幅田 智也	幅田 渡邊 智也 誠 ※※	2	通年	1 単位	必修
35	高次脳機能学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における高次脳機能障害の病態、介入方法を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※	2	後期	1 単位	必修
36	地域作業療法学	作業療法士として地域医療に携わった経験を踏まえ、障害を持ち地域で生活をする人への支援について講義を行う。	前場 洋佑	前場 渡邊 洋佑 誠 ※※	2	後期	1 単位	必修
37	地域作業療法学実習	病院や地域での臨床経験を踏まえ、学外見学を通して、地域医療やその歴史について指導する。	前場 洋佑	前場 渡邊 山崎 洋佑 誠 高多 ※※	2	後期	1 単位	必修
38	臨床実習Ⅱ	-	福田 倫也	福田 倫也 豊美 愛記 晃依 敬之 川口 前場 洋佑 ※※※※※※※※※※	2	通年	2 単位	必修
39	リハビリテーション医学	病院での臨床経験を踏まえ、各専門職種の見点から、リハビリテーション医学に必要な知識について教授する。	東條美奈子	東條美奈子 片桐 真人 堀口 利之 高平 尚伸 福田 倫也 佐野 肇 半田 知也 榊原 七重 中澤 祐則 頼住 孝二 宮城 正行 ※※※※※※※※※※	3	前期	2 単位	必修
40	身体障害作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や症例を挙げ、講義・演習を展開する。	渡邊 誠	渡邊 渡邊 誠 愛記 ※※	3	前期	2 単位	必修
41	身体障害作業療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、身体障害領域の作業療法に用いられている評価技法、治療技法について演習をし、実際の使い方、その結果の解釈について授業を行う。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※	3	通年	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

42	精神保健作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、精神科作業療法および地域資源での精神障害者リハビリテーションの実務内容を整理し、それらの価値や資源を活用する方向などについて明示的に伝える。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	3	通年	2 単位	必修
43	精神保健作業療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、精神科作業療法および関連する領域で現在標準的に用いられている評価技法、治療技法について演習を通して実際の使い方、その結果の解釈について授業を行う。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	3	後期	1 単位	必修
44	発達障害作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や実症例を挙げながら講義・演習を展開する。	高橋香代子	高橋香代子 ※	3	前期	2 単位	必修
45	発達障害作業療法学実習	病院での臨床経験を踏まえ、実際に病院における臨床場面を学生に見学させながら自身の作業療法の臨床的思考を伝える。	高橋香代子	高橋香代子 ※	3	通年	1 単位	必修
46	老年期作業療法学	介護老人保健施設での臨床経験を踏まえ、高齢者の生活障害及び地域包括ケアにおける作業療法士の役割を概説する。	河村 晃依	河村 晃依 ※	3	前期	1 単位	必修
47	老年期作業療法学実習	介護老人保健施設での臨床経験を踏まえ、高齢者の生活障害及び作業療法がどのように展開されるのかを概説する。	河村 晃依	河村 晃依 ※ 渡邊 誠 ※ 柴 喜崇 ※	3	通年	1 単位	必修
48	生活活動学	病院での臨床経験を踏まえ、生活障害に対する評価、介入方法を概説する。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※	3	前期	1 単位	必修
49	生活活動学実習	病院での臨床経験を踏まえ、生活活動の評価で用いられる技法（観察、動作工程分析）について演習を中心に行い、障害特性に応じた結果の活かし方や介入計画を事例を通して説明する。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※ 高橋香代子 ※	3	通年	1 単位	必修
50	生活環境調整学	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションにおける住環境整備と福祉用具の適応評価の捉え方を教授する。生活環境に関する評価、住環境整備の方法論等を概説する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 佐々木秀一 ※	3	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

51	生活環境調整学実習	病院での臨床経験を踏まえ、実際の臨床場面で行われる住環境の評価と住環境整備の立案を実習する。 さらに福祉用具、義手、義足、補装具の適応と処方に関して実習する。実際に補装具、義手の作製を行い事例を通じて、作業療法の治療戦略を教授する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 渡邊 誠 ※ 横山美佐子 ※ 畔柳 竜也 ※ 齋藤 拓 ※ 佐々木秀一 ※	3	通年	1 単位	必修
52	高次脳機能作業療法学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における高次脳機能障害の病態、介入方法を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※	3	前期	1 単位	必修
53	職業活動学	病院での臨床経験を踏まえ、病院での職業リハビリテーションアプローチと地域でのアプローチの違いを認識できるように事例を中心に解説する。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※ 藤川 千鶴 ※	3	前期	1 単位	必修
54	職業活動学実習	病院での臨床経験を踏まえ、職業リハビリテーションの場面で用いられる評価技法（作業見本法、質問紙法など）の演習をし、障害特性に応じた結果の解釈と活かし方を事例を通して説明する。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	3	前期	1 単位	必修
55	作業療法研究法	-	福田 倫也	福田 倫也 高橋香代子 幅田 智也 渡邊 誠 坂本 豊美 渡辺 愛記	3	前期	1 単位	必修
56	臨床実習Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や職業倫理、接遇などに関して学生に伝える。	高橋香代子	高橋香代子 ※ 渡邊 誠 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※ 前場 洋佑 ※	3	通年	4 単位	必修
57	作業療法学総合	-	渡辺 愛記	渡邊 誠 福田 倫也 高橋香代子 坂本 豊美 幅田 智也 渡辺 愛記 河村 晃依	4	後期	2 単位	必修
58	臨床実習Ⅳ	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法の臨床的思考や職業倫理、接遇などに関して学生に伝える。	高橋香代子	高橋香代子 ※ 幅田 智也 ※ 坂本 豊美 ※ 渡邊 誠 ※ 渡辺 愛記 ※ 河村 晃依 ※ 川口 敬之 ※ 前場 洋佑 ※	4	前期	16 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

59	卒業研究	-	福田 倫也	福田 倫也 高橋香代子 幅田 智也 渡邊 誠 坂本 豊美 渡辺 愛記 河村 晃依 川口 敬之 前場 洋佑 研究委員	4	通年	6 単位	必修
60	作業療法技術論 I	-	渡辺 愛記	渡辺 愛記	4	後期	1 単位	選択
61	作業療法技術論 II	臨床経験を踏まえ、臨床における評価・治療介入の実践について実技を交えて実施する。	幅田 智也	幅田 智也 ※ 渡邊 誠 ※	4	後期	1 単位	選択
62	作業療法技術論 III	病院での臨床経験を踏まえ、作業療法を取り囲む制度、理論について概説する。	渡邊 誠	渡邊 誠 ※	4	後期	1 単位	選択
63	作業療法技術論 IV	病院での臨床経験を踏まえ、精神障害領域で用いられる作業療法の治療技法と芸術療法や活動療法の技法を検討を加えながら演習を行う。	坂本 豊美	坂本 豊美 ※	4	後期	1 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

	科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1	解剖学 I	-	小畑 秀一	小畑 秀一 木村 武俊	1	後期	2 単位	必修
2	生理学 I	-	石橋 仁	石橋 仁 濱田 幸恵	1	後期	2 単位	必修
3	医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
4	リハビリテーション概論	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションに関する基礎的知識を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 半田 知也 ※ 東條美奈子 ※ 坂本 美喜 ※ 幅田 智也 ※ 原 由紀 ※ 榊原 七重 ※	1	後期	1 単位	必修
5	言語発達学	小児の臨床経験を踏まえ、定型的な言語発達を、ことばの遅れとも関連づけながら教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 原 由紀 ※	1	後期	1 単位	必修
6	社会系医療学	病院等での経験を踏まえ、社会福祉に関する概要や制度、ソーシャルワークの実際を講義する。	渡邊 誠	柴 喜崇 ※ 左右田 哲 ※ 中村 球恵 ※ 亀澤 有子 ※ 中村 奈奈子 ※ 坪井 ゆり ※ 市川 賀一 ※ 提中 拓 ※	1	前期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

7	言語聴覚療法学概論(実習含)	多様な臨床経験をもつ担当者が、それを踏まえ各領域について実践的な観点から概説する。	村上 健	村上 健 ※ 石坂 郁代 ※ 堀口 利之 ※ 野 肇 ※ 佐野 麻里子 ※ 東川 恵子 ※ 川 由紀 ※ 鈴木 若菜 ※ 原 陽子 ※ 秦 戸初 ※ 水 関穂子 ※ 戸 猪尚 ※ 関 川操 ※	1	通年	3 単位	必修
8	チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 藤村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢 田明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
9	解剖学Ⅱ	-	小畑 秀一	小畑 秀一	2	前期	2 単位	必修
10	生理学Ⅱ	研究所での研究経験を踏まえ、生理学分野の研究成果が人体の仕組みの解明にどのように貢献しているか概説する。	石橋 仁	石橋 仁 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	2 単位	必修
11	病理学	大学での医療技術者としての経験を踏まえ、医療における病理学の意義及び実際の病理診断がどのように展開されるのかを概説する。	土屋 紅緒	土屋 紅緒 ※	2	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

12	臨床医療学 I	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THE T LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 釦持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
13	臨床医療学 III	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	必修
14	耳鼻咽喉科学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、耳鼻咽喉科学の代表的疾患や病態等を教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 堀口 利之 ※	2	前期	1 単位	必修
15	形成外科学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、形成外科・美容外科学の基礎知識について教授する。	鈴木 恵子	武田 啓 ※ 根本 充 ※ 柏木 慎也 ※ 杉本 孝之 ※ 石川 心介 ※ 森山 和の ※ 杉本 佳香 ※ 君塚 幸子 ※	2	後期	1 単位	必修
16	歯科・口腔外科学	言語聴覚士と協働する歯科医師および歯科衛生士としての臨床経験を踏まえ、言語聴覚療法に必要な歯科・口腔疾患や疾患による言語障害の病態・治療法の現況について教授する。	原 由紀	窪田 千晶 ※ 木村 友美 ※ 佐藤みさを ※ 佐野あゆみ ※ 二宮 卓大 ※	2	後期	1 単位	必修
17	音声言語医学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、音声言語障害の医学的側面等について教授する。	堀口 利之	堀口 利之 ※	2	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

18	聴覚医学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、聴覚器官および平衡器官の検査法、症候、疾患、治療法について教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 落合 敦 ※	2	後期	1 単位	必修
19	高次脳機能学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における高次脳機能障害の病態、介入方法を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※	2	後期	1 単位	必修
20	臨床心理学 I	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
21	臨床心理学 II	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	2	後期	2 単位	必修
22	発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
23	心理学測定法	-	鈴木 恵子	鈴木 牧彦	2	後期	2 単位	必修
24	学習・認知心理学	-	鈴木 恵子	鈴木 牧彦	2	前期	2 単位	必修
25	言語学	-	堀口 利之	世良 時子	2	後期	2 単位	必修
26	音声学(実習含)	-	堀口 利之	世良 時子	2	前期	2 単位	必修
27	聴覚心理学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、聴覚心理学の基本事項及び聴覚機能検査の基本原則を教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※	2	前期	1 単位	必修
28	音響学(実習含)	病院での臨床経験及び企業研究所での研究実務を踏まえ、音響学理論を教授した上で、言語聴覚士の臨床的観点を踏まえた実践的な実習を行う。	鈴木 恵子	持田 岳美 ※ 鈴木 恵子 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※	2	前期	2 単位	必修
29	薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているかを概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	2	前期	2 単位	選択
30	医療統計学	病院での臨床経験を踏まえ、医療における統計学の重要性及び実際の統計を使用したデータ処理がどのように展開されるのかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※ 守田 憲崇 ※	2	後期	2 単位	選択

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

31	基礎言語聴覚療法学（実習含）	病院での臨床経験を踏まえ、担当者ごとに各専門領域について実践的な観点から教授する。	秦 若菜	石坂 郁代 ※ 佐野 肇 ※ 堀口 利之 ※ 原 由紀 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※ 見学担当者 ※	2	後期	1 単位	必修
32	構音障害学 I（実習含）	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、構音障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	鈴木 恵子	堀口 利之 ※ 鈴木 恵子 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※	2	通年	3 単位	必修
33	聴覚検査学	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、各種の聴覚機能検査の方法とその診断学的意義について教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 鈴木 恵子 ※	2	通年	1 単位	必修
34	聴覚検査学実習	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、実習を通して各種の聴覚機能検査法について実践的に指導する。	村上 健	佐野 肇 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※	2	通年	1 単位	必修
35	リハビリテーション医学	病院での臨床経験を踏まえ、各専門職種の視点から、リハビリテーション医学に必要な知識について教授する。	東條美奈子	東條美奈子 ※ 片桐 真人 ※ 堀口 利之 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 佐野 肇 ※ 半田 知也 ※ 榊原 七重 ※ 中澤 祐則 ※ 頼住 孝二 ※ 宮城 正行 ※	3	前期	2 単位	必修
36	失語・高次脳機能障害学	言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、高次脳機能障害の概要、失語症の分類・症状、鑑別診断の方法等について教授する。	東川 麻里	東川 麻里 ※ 秦 若菜 ※	3	前期	3 単位	必修
37	失語・高次脳機能障害学実習	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、失語症とその他の高次脳機能障害の病態に関する知識及び評価・訓練プログラムの立案・訓練実施のための理論と実技を指導する。	東川 麻里	東川 麻里 ※ 秦 若菜 ※ 石坂 郁代 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※ 関 初穂 ※ 波多野和夫 ※ 見学担当者 ※	3	通年	3 単位	必修
38	言語発達障害学	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、言語発達障害児のコミュニケーションおよび言語の症状、障害の発生機序等を教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 金生由紀子 ※ 武井 研二 ※	3	前期	3 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

39	言語発達障害学実習	多職種にわたる臨床経験を踏まえ、言語発達障害児に対する臨床場面での一連のプロセス、具体的な指導プログラムを実習を通して指導する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 榊原 七重 ※ 水戸 陽子 ※	3	通年	3 単位	必修
40	重複障害学	多職種にわたる臨床経験を踏まえ、重複障害児の運動機能の障害と言語およびコミュニケーション障害等について教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 横山美佐子 ※ 小沢 浩 ※	3	後期	1 単位	必修
41	構音障害学Ⅱ（実習含）	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、運動障害性構音障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	東川 麻里	東川 麻里 ※ 堀口 利之 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※ 清水 忍 ※	3	通年	2 単位	必修
42	音声障害学（実習含）	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、音声障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	堀口 利之	堀口 利之 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 太田 時夫 ※	3	前期	2 単位	必修
43	嚥下障害学（実習含）	多職種にわたる臨床経験を踏まえ、嚥下障害の病態および臨床現場での態度等を教授する。	村上 健	村上 健 ※ 堀口 利之 ※ 高橋香代子 ※ 東川 麻里 ※ 秦 若菜 ※ 佐野あゆみ ※ 木村 友美 ※ 佐藤みさを ※ 清家由美子 ※	3	後期	2 単位	必修
44	吃音学（実習含）	言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、吃音に関する知識と評価、リハビリテーションに必要な基本的技術を教授する。	原 由紀	原 由紀 ※ 安田 菜穂 ※ 吉澤健太郎 ※	3	前期	2 単位	必修
45	小児聴覚障害学（実習含）	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、小児聴覚障害児の評価・ハビリテーションに必要な基本的知識・技術を教授する。	原 由紀	原 由紀 ※ 鈴木 恵子 ※ 村上 健 ※ 石坂 郁代 ※	3	通年	2 単位	必修
46	成人聴覚障害学（実習含）	言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、成人聴覚障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	鈴木 恵子	鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 今井 節子 ※	3	前期	1 単位	必修
47	補聴器・人工内耳（実習含）	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、補聴機器および人工内耳の基礎的な知識と技術を実践的に教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※	3	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

48	臨床実習Ⅰ	言語聴覚士、臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、担当者が領域を分担し、実践的な実習指導を行う。	東川 麻里	石坂 郁代 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 水戸 陽子 ※ 深瀬 裕子 ※ 各実習先担当者 ※	3	後期	1 単位	必修
49	臨床言語聴覚療法学実習	言語聴覚士としての多様な臨床経験を踏まえ、担当者が領域を分担し実践的な実習指導を行う。	鈴木 恵子	鈴木 恵子 ※ 石坂 郁代 ※ 東川 麻里 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 水戸 陽子 ※	3	後期	2 単位	必修
50	言語聴覚療法学総合演習	病院での臨床経験を踏まえ、担当者ごとに各専門領域について実践的な観点から教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 堀口 利之 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 水戸 陽子 ※ 鈴木 牧彦 ※ 田口 明子 ※ 片桐 裕史 ※	4	通年	3 単位	必修
51	臨床実習Ⅱ	医師、言語聴覚士としての多様な臨床経験を踏まえ、各担当者が領域を分担し実践的な実習指導を行う。	原 由紀	堀口 利之 ※ 佐野 肇 ※ 石坂 郁代 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※	4	通年	12 単位	必修
52	卒業研究	病院での臨床経験を踏まえ、担当者ごとに各専門領域について実践的な観点から研究指導する。	鈴木 恵子	石坂 郁代 ※ 堀口 利之 ※ 佐野 肇 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※ 研究委員	4	通年	4 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 リハビリテーション学科 視覚機能療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 解剖学 I	-	小畑 秀一	小畑 秀一 木村 武俊	1	後期	2 単位	必修
2 生理学 I	-	石橋 仁	石橋 仁 濱田 幸恵	1	後期	2 単位	必修
3 リハビリテーション概論	病院での臨床経験を踏まえ、 リハビリテーションに関する 基礎的知識を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 半田 知也 ※ 東條美奈子 ※ 坂本 美喜 ※ 幅田 智也 ※ 原 由紀 ※ 榊原 七重 ※	1	後期	1 単位	必修
4 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、 実践的なチーム医療の意義や 必要性、チーム医療における コミュニケーションの重要性 や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田 明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
5 視覚機能療法学概論 I	病院での臨床経験を踏まえ、 視覚機能療法の意義及び実際 の視能検査・訓練どのように 展開されるのかを概説する。	半田 知也	半田 知也 ※ 川守田 拓志 ※ 浅川 賢 ※ 榊原 七重 ※ 藤村 美佐子 ※ 岩田 遥 ※	1	前期	2 単位	必修
6 医療学概論	病院、企業、公的機関等での 経験を踏まえ、医療に関連した 各種職業分野と社会活動等 について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐 真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

7	眼科英語	病院での臨床経験を踏まえ、眼科英語の意義及び実際の臨床現場での活用（応用）を学ぶ。	神谷 和孝	神谷 和孝 ※ 川守田拓志 ※ 榊原七重 ※ 岩田 遥 ※	2	前期	1 単位	必修
8	解剖学Ⅱ	-	小畑 秀一	小畑 秀一	2	前期	2 単位	必修
9	生理学Ⅱ	研究所での研究経験を踏まえ、生理学分野の研究成果が人体の仕組みの解明にどのように貢献しているか概説する。	石橋 仁	石橋 仁 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	2 単位	必修
10	病理学	研究機関での経験を踏まえ、病理学的基礎知識が臨床的専門分野の礎となることを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※	2	前期	2 単位	必修
11	公衆衛生学	公的機関での短期専門家としてインドネシア共和国に派遣され、衛生における研究や教育の指導に携わった経験を踏まえ、環境問題解決の基本的な考え方や上下水道整備の意義を概説する。	内藤由紀子	内藤由紀子 ※ 伊与 亨 ※ 片桐 裕史	2	後期	2 単位	必修
12	薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているか概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	2	前期	2 単位	必修
13	臨床医療学Ⅰ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THE T THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 鈕持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木 治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川 力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
14	臨床医療学Ⅲ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷 浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

15	臨床心理学 I	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
16	発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
17	社会系医療学	病院等での経験を踏まえ、社会福祉に関する概要や制度、ソーシャルワークの実際を講義する。	渡邊 誠	柴 喜 崇 ※ 左右田 哲 ※ 中村 球 恵 ※ 亀澤 有 子 ※ 中村 奈 奈 ※ 坪井 奈 侖 ※ 市川 賀 一 ※ 提中 拓 拓 ※	2	前期	1 単位	必修
18	医療統計学	研究所での経験を踏まえ、実際の工場で測定されるデータのばらつき等をどう評価するかを概説する。 病院での臨床経験を踏まえ、医療における統計学の重要性及び実際の統計を使用したデータ処理がどのように展開されるのかを概説する。	稲岡 秀 検	稲岡 秀 検 ※ 守田 憲 崇 ※	2	後期	2 単位	必修
19	社会福祉実習	病院での臨床経験を踏まえ、医療と福祉の関係及び実際の視覚障害者に対する福祉サービスがどのように展開されるのかを解説する。	榊原 七 重	榊原 七 重 ※	2	前期	1 単位	必修
20	保育	保育・療育の現場での経験、臨床での乳幼児医療での経験を踏まえ、乳幼児の視覚発達と、身体的精神的発達のかかわりについて概説する。	榊原 七 重	河合 高 鋭 ※ 榊原 七 重 ※	2	前期	2 単位	必修
21	保育実習	障害や疾患のある子供の指導経験、病院での臨床経験を踏まえ、治療中の児が通う園等の保育士との情報共有等について概説し、視能訓練士を目指す者の実習での取り組みについて解説する。	榊原 七 重	河合 高 鋭 ※ 榊原 七 重 ※	2	通年	2 単位	必修
22	視覚機能療法学概論Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、臨床において視能訓練士が実施する検査・訓練が眼疾患の治療においてどのように展開されるのかを概説する。	榊原 七 重	榊原 七 重 ※ 石川 均 ※ 半田 知 也 ※ 川守田 拓 志 ※ 浅川 賢 ※	2	前期	2 単位	必修
23	視覚機能療法学概論Ⅲ	病院での臨床経験を踏まえ、光学の基礎を学ぶことの意義について解説する。	川守田拓志	川守田拓志 ※	2	後期	2 単位	必修
24	学習・認知心理学	-	鈴木 恵子	鈴木 牧彦	2	前期	2 単位	自由

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

25	視器解剖・病理学	病院での臨床経験を踏まえ、症例を提示しつつ眼組織から視覚中枢までの形態と機能を指導する。	浅川 賢	浅川 賢 ※	2	前期	2 単位	必修
26	視器解剖・病理学実習	病院での臨床経験を踏まえ、眼科臨床で必要とされる視器の構造や役割、診かたに重点を置いて指導する。	浅川 賢	門谷 裕一 ※ 小畑 秀一 ※ 田口 明子 ※ 林 徹 武 ※ 木村 俊 賢 ※ 浅川 賢 ※	2	後期	1 単位	必修
27	視覚臨床生理学	臨床経験を基に、眼の解剖・構造を踏まえ、実際の臨床所見としてどのように検出されるかを概説する。	神谷 和孝	神谷 和孝 ※ 浅川 賢 ※ 岩田 遥 ※ 藤村 芙佐子 ※	2	後期	2 単位	必修
28	視能矯正学総論実習 I	臨床経験を踏まえ、実際の臨床検査がどのように実施されるか実習する。	藤村 芙佐子	藤村 芙佐子 ※	2	後期	1 単位	必修
29	リハビリテーション医学	病院での臨床経験を踏まえ、各専門職種の見点から、リハビリテーション医学に必要な知識について教授する。	東條美奈子	東條美奈子 ※ 片桐 真人 ※ 堀口 利之伸 ※ 高平 尚也 ※ 福田 倫也 ※ 佐野 肇也 ※ 半田 知也 ※ 榊原 七重 ※ 中澤 祐則 ※ 頼住 孝二 ※ 宮城 正行 ※	3	前期	2 単位	必修
30	視覚臨床生理学実習	臨床経験を基に、眼の解剖・構造を踏まえ実際の臨床においてどのように検査するかを実習する。	藤村 芙佐子	藤村 芙佐子 ※ 半田 知也 ※ 川守田 拓志 ※ 浅川 賢 ※ 榊原 七重 ※ 岩田 遥 ※ 干川 里絵 ※	3	後期	1 単位	必修
31	眼科学	病院での臨床経験を踏まえ、眼の解剖・構造と眼科疾患との関連性や治療について概説する。	神谷 和孝	神谷 和孝 ※ 岩田 遥 ※	3	通年	3 単位	必修
32	眼科薬理学	病院での臨床経験を踏まえ、実際のケースを紹介して薬物の適切な使用を指導する。	浅川 賢	石川 均 ※ 浅川 賢 ※	3	前期	1 単位	必修
33	眼科臨床機器学	病院での臨床経験を踏まえ、医療機器を扱う際の注意事項やメンテナンスに重点を置いて指導する。	浅川 賢	榊原 七重 ※ 藤村 芙佐子 ※ 永野 幸一 ※ 山口 純 ※ 浅川 賢 ※	3	後期	1 単位	必修
34	神経眼科学	病院での臨床経験を踏まえ、神経や筋、眼球運動異常の診かたを、症例の動画を交えながら指導する。	石川 均	石川 均 ※ 半田 知也 ※ 浅川 賢 ※ 岩田 遥 ※	3	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

35	神経眼科学実習	病院での臨床経験を踏まえ、視覚系や神経系を評価する意義及び実際の検査方法がどのように展開されるのかを指導する。	石川 均	石川 均 ※ 半田 知也 ※ 川守田拓志 ※ 浅川 賢 ※ 榊原 七重 ※ 藤村 芙佐子 ※ 千川 里絵 ※	3	後期	1 単位	必修
36	生理光学	病院での臨床経験を踏まえ、生理光学の意義及び検査の実際について解説する。	川守田拓志	川守田拓志 ※	3	前期	2 単位	必修
37	生理光学実習	病院での臨床経験を踏まえ、生理光学の意義及び検査の実際について実習および実技試験を行う。	川守田拓志	榊原 七重 ※ 藤村 芙佐子 ※ 浅川 賢 ※ 岩田 遥 ※ 千川 里絵 ※ 永留 幸明 ※ 山崎 健 ※ 川守田拓志 ※	3	前期	1 単位	必修
38	視能訓練学	病院での臨床経験を踏まえ、視覚リハビリテーションの意義及び実際の視能訓練がどのように展開されるのかを説明する。	半田 知也	半田 知也 ※ 三輪 まり枝 ※ 戸塚 悟 ※ 岩田 遥 ※ 伊藤 博隆 ※	3	後期	2 単位	必修
39	視能矯正学総論	病院での臨床経験を踏まえ、大学病院での見学実習を通して、視能矯正の意義及び実際の視能訓練が、どのように展開されるのかを指導する。	石川 均	石川 均 ※ 半田 知也 ※ 榊原 七重 ※ 岩田 遥 ※	3	通年	4 単位	必修
40	視能矯正学総論実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、実際の臨床検査がどのように実施されるか実習および実技試験を行う。	藤村 芙佐子	半田 知也 ※ 川守田拓志 ※ 浅川 賢 ※ 榊原 七重 ※ 藤村 芙佐子 ※ 岩田 遥 ※ 千川 里絵 ※	3	前期	2 単位	必修
41	視能矯正学各論Ⅰ	病院での臨床経験を踏まえ、斜視の検査及び実際の斜視の診断・治療がどのように展開されるのかを説明する。	半田 知也	半田 知也 ※ 石川 均 ※ 榊原 七重 ※	3	前期	2 単位	必修
42	視能矯正学特論実習Ⅰ	眼科診療における視機能検査・訓練の臨床経験を踏まえ、実際の視能検査・訓練がどのように行われるのかを説明する。	半田 知也	半田 知也 ※ 川守田拓志 ※ 榊原 七重 ※ 浅川 賢 ※ 藤村 芙佐子 ※ 岩田 遥 ※ 千川 里絵 ※	3	後期	1 単位	必修
43	視能矯正学各論Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、小児の発達や弱視の概念、治療、訓練法について概説する	藤村 芙佐子	藤村 芙佐子 ※	4	前期	2 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

44	視能矯正学特論	視覚に関する専門的知識習得において、病院での臨床経験を踏まえ、眼疾患の検査・診断・治療の実際を関連づけて説明する。	半田 知也	半田 知也 ※ 石川 均 ※ 神谷 和孝 ※ 川守田拓志 ※ 浅川 賢 ※ 榊原 七重 ※ 藤村 芙佐子 ※ 岩田 遥 ※	4	通年	2 単位	必修
45	視能矯正学特論実習Ⅱ	病院での臨床経験を踏まえ、臨床実習において感じた疑問を解決し、今後視能訓練士として臨床に出るために必要な知識、技術、問題解決の方法について指導する。	榊原 七重	半田 知也 ※ 川守田拓志 ※ 榊原 七重 ※ 浅川 賢 ※ 藤村 芙佐子 ※ 岩田 遥 ※ 干川 里絵 ※	4	前期	1 単位	必修
46	視覚矯正工学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における視覚障害者支援について、症例紹介を交え講義する。	榊原 七重	川守田拓志 ※ 榊原 七重 ※	4	前期	2 単位	必修
47	臨床実習	病院での臨床経験を踏まえ、実際の病院における実習を通して、卒後、視能訓練士としての業務を理解し、向上心を持って実技を習得するよう指導する。	藤村 芙佐子	石川 均 ※ 神谷 和孝 ※ 半田 知也 ※ 川守田拓志 ※ 浅川 賢 ※ 榊原 七重 ※ 藤村 芙佐子 ※ 岩田 遥 ※	4	通年	9 単位	必修
48	卒業研究	病院での臨床経験を踏まえ、眼科臨床における懸案事項や話題を提供し、学生自らが研究に取り組むように指導する。	石川 均	石川 均 ※ 半田 知也 ※ 神谷 和孝 ※ 川守田拓志 ※ 浅川 賢 ※ 榊原 七重 ※ 藤村 芙佐子 ※ 岩田 遥 ※ 干川 里絵 ※ 研究委員	4	通年	6 単位	必修

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。

実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔医療衛生学部 4群科目〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、 先天的、後天的出血性疾患に ついての臨床的意義について 講義し、また実際の血液補充 療法や薬物療法がどのように 展開されているのかを概説す る。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
2 医療レーザー入門	-	熊谷 寛	熊谷 寛	全	前期	1 単位	自由
3 臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・ 医師として病院、検査セン ター、健診センター、研究 所、企業での経験を踏まえ、 各分野での臨床検査の意義、 様々な医療現場において活躍 する臨床検査技師の役割及び 臨床検査技師・細胞検査士 の実際の業務について概説す る。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村由香里 ※ 長塩 亮 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由
4 ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究 所・企業での研究経験を踏ま え、医療知識が災害や国内外 のボランティア活動にどのよ うに活かされているかを概説 する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQクラブ	全	後期	2 単位	自由
5 神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実 務経験を踏まえ、神経活動、 神経伝達、神経系構造と役割 について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由
6 社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験 を踏まえ、社会・集団におけ る対人・自己認知や家族機能 の正常および病的なメカニズ ムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由
7 感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験 を踏まえ、感情・人格の正常 および病的なメカニズムを概 説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由
8 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、 医学における研究トピックス 及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由
9 生体信号計測概論	企業での機器開発経験をふま え、生体信号計測機器の利用 と開発に必要な基礎知識につ いて概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
10 生体医用光学概論	-	小川恵美悠	小川恵美悠	全	前期	1 単位	自由

●実務経験のある教員は※で示しております。各科目シラバスの担当者欄にも※が付してありますが、科目ごとの実務経験の有無についての詳細は、上記の一覧表が正式となります。